

高齢者・障がい者等に対する支援について

葛山 繁隆 議員

高年齢者が利用できる支援の内容を伺います。

介護保険制度では、ケアマネジャーによるケアプランの作成、当該制度以外では、地域包括支援センターで相談ができ、その内容に応じたサービスが紹介されます。また

地域や事業者と連携した体験の講座や談話室など介護予防事業が実施されており、さらには生活支援体制整備事業として、地域での支え合い体制づくりに向け、地域の課題について意見交換を行い、住民主体の通いの場の創設や助け

企業誘致について

小易 和彦 議員

企業誘致に向けた市長の考えを伺います。

本市は、首都近郊の住宅都市として発展してきましたが、近年、急激に少子高齢化が進んでいるため、求められる施策や必要な財源は増加しています。この状況が今後も続くことは間違いなく、人口増や税収増を図り、少子高齢化の

波に対応することは基礎自治体として優先的に取り組むべき課題です。そのため、企業誘致を促進し、地域経済の活性化を促し、生まれた財源をまちづくりや市民の利便性の向上につながるよう投資し、市の魅力を高めるという好循環を生み出す必要があります。この基本的な考え方に基づき

本市の持続可能な市政運営について

富田 信恵 議員

本市は平成15年度から行財政改革を実施し、財政指標等の目標の設定後は、全て目標をクリアし、一定の効果があると考えます。鎌ヶ谷市第3次行財政改革推進プランに取り組み上での課題を伺います。

子どもたちの朝の居場所について

佐藤 剛 議員

子ども家庭庁が全国の地方自治体を対象に、子どもたちに朝の居場所を提供する取組に関する調査を実施しましたが、その経緯を伺います。

小学校の長期休業中における子どもたちの居場所に関する調査研究において、平日の朝

朝7時頃から児童に居場所を提供する取組を本市が実施する場合の見解を伺います。

合い活動の拡充等の社会活動への参加が進められています。障がい者が利用できる支援の内容を伺います。

孤立せず安心して暮らせるよう、利用者の障がいの特性などに応じたグループホームや日中活動の場としては、機能訓練、創作活動の機会や社会との交流等を行える地域活動支援センターがあります。

市民福祉の向上や本市の発展のために前例にとらわれず、企業誘致に積極的に取り組んでいます。



新鎌ヶ谷駅南側地区完成イメージ図

多様化する市民サービスと業務効率の向上のためのデジタル化の取組を伺います。

鎌ヶ谷市DX基本方針を踏まえ、保育園のICT化、書かない窓口、公金収納のキャッシュレス化を進めるほか令和11年度までに50名のDX推進リーダーを確保するようデジタル人材の育成に取り組んでいます。

下総航空基地内でのPFAS等の検出状況と今後の対応策について

津久井 清氏 議員

今年3月の下総航空基地内での水質調査では極めて高いPFASが検出されました。同基地内からPFASが金山落等に流出したと考えますが市の認識を伺います。

同基地からの排水が金山落において高い値のPFASが検出された原因の一つと考えられます。

市全体のPFASの検出状況を伺います。

検出された箇所から範囲を広げて調査しましたが、一定範囲以上に汚染の広がりが

被災者支援システムの導入について

矢崎 悟 議員

被災者の被害情報や援護の実施状況などを一元的に集約する被災者台帳の運用について伺います。

内閣府が提供する簡易なファイルを活用した表計算ソフトを使用しますが、援護の実施状況などは各担当部署で入力する必要があります。ファイルの共有などに課題もあるのが現状です。

千葉県では県内18市町村と協定を締結し、被災者支援システムの導入を進めていますが、本市の導入への見解を伺います。

罹災証明書の交付や被災者台帳の整備は、迅速かつ確



議会だよりについて ご意見・ご感想をお寄せください

お気づきの点などございましたら、電話やホームページのお問い合わせメールフォームからお知らせください。いただいた貴重なご意見等は、今後の議会だより作成の参考とさせていただきます。

「生きづらさ」を感じている方々への支援について

松原 美子 議員

障がい福祉サービスの制度のはざまにいる人が利用できる地域生活支援事業として地域活動支援センターがありますが、同センターの役割を伺います。

地域で暮らす障がい者が地域の一員として無理なくつ

不登校児童生徒に関する本市の取組について

河内 一朗 議員

今年度から市内全小中学校に開設された校内教育支援センターの支援内容を伺います。

長期欠席、不登校及び教室に入ることが難しい児童生徒が安心して通うことができる教室としながら、一人一人

本市の救急出動状況について

勝 又 勝 議員

119番通報の新しい取組であるLive 119の概要を伺います。

119番通報をした通報者のスマートフォンを活用して通信指令員が災害現場の状況を音声だけでなく映像でも確認することで、言葉だけでは伝わらない状況を視覚的に収集

北千葉道路の整備促進と沿線の土地利用について

宗川 洋一 議員

直近の進捗状況を伺います。

千葉県では公有地拡大の推進に関する法律に基づき、本市域の北千葉道路予定地で用地の先買いを実施しています。本市では同予定地を含む沿線と土地の境界などを明確にする地籍調査を実施してい

道の駅の整備について、市の考えを伺います。

市街化調整区域の土地利用方針策定業務委託の企業ヒアリングでは、北千葉道路沿線を含む新鎌ヶ谷駅西側地区やインターチェンジ周辺は今後の企業誘致に大変期待でき

補助金の交付要件はありますが、事務事業費、機能強化事業費及び家賃は、補助金の対象となります。障がい福祉サービスを利用できないグレイゾーンの障がい者なども利用することが可能であり、日中活動や交流を希望する障がい者にとって必要のため、当該補助制度は継続することと考えています。

提出は任意であり、不利益な扱いを受けることはないと考えています。

マイナ救急の概要を伺います

救急隊が傷病者のマイナ保険証を活用して、搬送先病院の選定に必要となる限定された医療情報を把握することで、傷病者本人や家族から名前や生年月日等の情報を直接聞き取る必要がなくなるなど救急業務の円滑化を図る取組です。

とされ、道の駅についても意見がありました。また、北千葉道路沿線土地利用基礎調査委託の土地利用方針でも道の駅が示されており、さらに検討していきます。

